



# MEDICAL NEWS

ホームページアドレス <http://hospital.kikkoman.co.jp/>

## 循環器カテーテル治療 冠動脈だけでなく全身血管治療の時代へ

循環器内科医師 木股 伸恒

### カテーテル治療の歴史・変遷

カテーテル検査とは、腕や足の血管から標的血管まで細い管（カテーテル）を挿入し、局所的に造影剤を注入しながらレントゲンを撮影することで血管を鮮明に映し出す検査です。心臓カテーテル検査は文字通り心臓の血管（冠動脈）や左心室などを映す造影検査で、現在では狭心症、心筋梗塞などの虚血性心疾患の診断、治療だけでなく、心筋症の確定診断や弁膜症の手術適応判断にも必要で、循環器診療に欠くことのできないものとなっています。

心臓におけるカテーテル検査の歴史は、ドイツ出身のヴェルナー・フォルマン博士が1929年、当時心臓用カテーテルがなかったため、尿道用カテーテルを行い、みずからの左上腕静脈から右心房まで挿入し行ったのが発端と言われております。当時は実臨床に応用できるレベルではありませんでしたが、その後医療工学の進歩、医師によるデバイスの開発などを重ねつづけ、冠動脈バルーン拡張術が世界で初めて施行され、世界中で冠動脈疾患に対する治療が行われるようになりました。そして、1990年に現在のステントのプロトタイプとも言

うべきバルーン拡張型ステントが開発されることにより、術後の再狭窄・閉塞率が飛躍的に改善、虚血性心疾患治療が薬物療法主体から一気にカテーテル治療を中心にシフトすることとなりました。

その後もデバイスの進化は続き、カテーテルは細く、柔らかくかつ丈夫になつたことで現在ではほとんどの症例で足の付け根ではなく、手首の動脈からでも施術が可能になりました。体の小さい患者さんは血管も細いので依然として足の付け根からの施術となりますが、止血テバイスの登場により術後の安静時間も短く（3・4時間程度）なりました。とりわけ、ステントの進歩は自覚ましく、薬剤を塗布した薬剤溶出型ステントが開発され、従来型ステントで20～30%であった再狭窄率が5%台まで低下し、今まで複数回のカテーテル治療を要していた患者さんも単回で完結するようになり、本来バイパス手術の適応であった患者さんもカテーテルで治療できるケースが増えてきました。

### カテーテル治療の現状

薬剤溶出型ステントの登場で、当初

売当初は全国的に微減したもの、その後は増加傾向となっております。その理由として、①生活習慣病（特に糖尿病）患者さんの増加、②患者さんの高齢化、③開業医さんの疾患に対する認識の改善、など罹患者さんの数自体が増加していることが挙げられます。血管は人体にとって水道管のようなもので、老朽化に伴いインフラ整備（カテーテル治療）が必要となるのは仕方のないことと考えております。また、カテーテル治療の適応となることは動脈硬化疾患全体に対する『警鐘』であり、罹患することで再発や別の血管のカテーテル治療の適応となることは動脈硬化を抑制すべく薬物療法、食事療法、生活習慣の改善などの必要性に気付いていただける最も良い機会ではないかと考えることができます。

30歳台中盤から40歳台中盤の医師は、研修当初からカテーテル治療全盛期であつた世代であり、心臓カテーテル検査・治療から動脈硬化疾患全体をケアしていくスタンスをとる医師も少なくありません。小生もその一人ですが、動脈硬化 자체は冠動脈だけでなく脳、手足の血管、腎動脈など腹腔臓器にも起こることから、そういう疾患に対するケアを行わずして循環器診療は成り立たないと考えております。



## 冠動脈から 末梢血管カテーテル治療へ

前述のとおり、動脈硬化 자체は全身の血管に起るわけですが、起りこりやすい血管（原因はハツキリ分かつておりません）があります。具体的には脳・頸動脈、下肢動脈、腎動脈、腕の動脈などです（脳・頸動脈は幾多の循環器医師がカテーテル治療に挑戦したのですが、手術加療に比べて成績が悪かったこともあり、現状では脳神経外科的疾患と考えておりますゆえこの場での議論は割愛させていただきます）。心臓に比べて症状が起りにくく、緊急性がないことが多いので看過されやすいのですが、虚血性歩行困難や運動対応能の低下から生活習慣病の悪化を招き、虚血臓器への血流補填のため血圧上昇を伴うことがほぼ必発であるなど、動脈硬化の「負のスパイラル」に陥る疾患と考えております。冠動脈疾患が

『一発ＫＯ型』、末梢血管疾患は『ボディーブローでじわじわ型』といった感じでしよう。末梢血管疾患で最も多いのが下肢動脈疾患（閉塞性動脈硬化症）の患者さんで、その5年生存率は40～50%と冠動脈疾患患者さんより予後が悪いとされております。死因には心疾患が40%、悪性腫瘍が20～30%、脳血管疾患15～20%であり、足が壊死を起こして感染を起こし亡くなる患者さんはほとんどいません。冠動脈に比べ末梢血管は血管径が太いため、症状を有する動脈硬化を起こしにくいとされており、症状を呈した時点ですでに『動脈硬化の終末期』であり多臓器虚血を発症しやすいと考えられるほか、末梢血管疾患は喫煙との因果関係が大きく悪性腫瘍も増加すると考えられております。

### 院長コラム

## “ゆく河の流れは絶えずして、しかももとの水にあらず”

キッコーマン総合病院・院長 久保田 芳郎

“ゆく河の流れは絶えずして、しかももとの水にあらず。よどみに浮かぶたかたは、かつ消えかつ結びて、久しくとどまりたるためなし。世の中にいる人とすみかと、またかくのごとし。”鴨長明の「方丈記」の一説です。鴨長明が生きた半世紀のあいだ、日本史上でも特筆すべき大きな変化がつづきました。武家が登場し、その代表の清盛がまたたく間に貴族社会を席卷して新たな「武者の世」を準備したのもつかのま、その武家を大きく二分する源平の争乱が列島各地を次々に走りました。それで収まるかとおもえば、初めて東国に幕府を構えた頼朝政権はわずか三代で潰えました。平家が滅亡し、そして源氏が滅亡したのです。時代はつねに流れ、しかも“もとの水にあらず”。

これほどの激変ではないにしても、1914年1月10日に当院が大正天皇即位記念事業として創立してから100年、2012年8月17日には新病院が新規開院し、2014年1月19日にはキッコーマン総合病院創立100周年記念祝賀会を祝い、そして今や2014年度が始まりました。新しい医師が6名、新しい職

員が14名入社して新しい息吹が芽生え、総合病院が大きく飛躍しようとしています。

堺屋太一はその著書「時代が変わった」の中で、“今日を生き残るためにには、現下の不況に耐える気力と体力が必要だが、明日を勝ち抜くためには、新しい「時代」に適した活力と知力が不可欠である”と述べています。つねに流れる「時代」を的確にとらえ、臨機応変に対応してさらに次の新しい「時代」へ！

“キッコーマン”は「食と健康」の旗印の下、医療・介護を取り巻く状況が大きく変わろうとしている時代を見据え、大きな夢と燃える情熱、ゆるぎない信念をもって、医療レベルの質的向上、患者さんへのサービス改善、特色ある診療体制の強化を図るとともに、「食」と「運動」を中心にライフスタイル全般にわたる生活習慣病対策など予防医学・抗加齢医学を充実させ、“病気にならない”あるいは“病気があっても、心が病気から自由である”元気な高齢社会の実現を目指していきたいと考えております。

皆様にはなお一層のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。



# 外来診療担当表

2014年8月時点

診察科		診療案内	月	火	水	木	金	土
内科	午前	総合／消化器	三上 大西	清水	秋本	清水	三上 大西	秋本 丸野
		生活習慣病	佐々木	土屋	佐々木	塚越	高野	佐々木
		呼吸器			吉田正	鈴木	桂	
		腎臓			太田(火曜日または土曜日)			
		循環器	大野	大野	大野	久保田	木股	木股
	午後	リウマチ／膠原病			住田		横澤	
		消化器	清水		大西	今村※	丸野	
		生活習慣病		佐々木※			高野	
		呼吸器			吉田正	鈴木	桂	
		禁煙外来			佐々木※			佐々木※
外科	午前	総合	久保田 仁禮	相馬 近藤	畠川口	相馬	久保田 田中	仁禮 近藤
	午後	ストーマ外来			相馬※			
		乳腺外来						仁禮※
婦人科	午前	総合	高嶺		高嶺	石山	石林	石山
	午後	総合	石山		石山	宇田川(月回林)	宇田川	
産科	午前	総合	石山		石山	渡邊	宇田川	高嶺
	午後	総合	宇田川	交代制	高嶺	石山	高嶺	
小児科	午前	総合	細井	細井	竹内	竹内	細井	交代制
		専門外来	竹内					原則第3のみ※神経初診不可
	午後	総合(月・水・金 当日予約可)	竹内※		竹内※	第1・2・3・5週 赤木第4週交代制	細井※	
		予防接種	竹内・細井※	細井※	竹内※	交代制※	細井※	交代制※
		元気な子		健診優先(竹内)※				交代制※
		専門外来				循環器※ 第1・2・3・5週		原則第4のみ※内分泌初診不可
整形外科	午前	総合	落合 田中 大西	神山 岡野	田中 神山	野内 筑波大医師 大西 第2・4週のみ (8月のみ8/6、8/28)	落合 田中 岡野 吉岡	野内 神山 谷口 月1回山崎
	午後	総合		神山		膝関節外来 青岡※(第2・4週) (8月のみ8/6、8/27)	足の外科 野内※	手の外科 田中
		専門外来				脊椎外来 酒井※(第2・4週)		
						股関節外来 菅谷※(第3週)		
リハビリテーション科	午後				野内			
耳鼻咽喉科	午前	総合		大村	谷口	長岡	山口	石垣 第2・4週 遠藤
	午後	総合		大村	谷口▲	長岡	山口	
眼科	午前	総合	尾羽澤	都築	尾羽澤 河野	交代制	尾羽澤	尾羽澤
	午後			都築		篠田※		
	夕方	総合			尾羽澤※			
皮膚科	午後	総合			宇賀神		宗次	
泌尿器科	午前	総合	大村※	大村	大村	大村※	大村	大村
	午後	ストーマ外来			大村※		大村	
脳神経外科	午前	総合		佐藤		山本		

- 全科で予約診療を予定しています。お電話でのご予約受付時間は月曜日～土曜日(休診日除く)の午前9時から午後4時まで。

ご予約  
専用電話番号 **04-7123-5901** (直通)

ご予約受付は、診察ご希望日の前日までとなっております。

- 外来受付時間 午前8時～午前11時、午後1時から午後3時(皮膚科は午後1時～午後2時)

小児科の午後の診療は木曜日以外完全予約制となりますが、月・水・金は当日予約ができます。  
(小児科のみ一般診察は午後2時30分から)

- 都合により診察担当医師が変更になる場合があります。

- ※印の診察は、完全予約制です。

- ▲印の診察は、手術のため休診となる場合があります。

受診の際は診察券をお忘れなく、月初めの受診日には保険証をお持ちください。

# 循環器・消化器病検査担当表

平成26年8月1日現在

検査名	月	火	水	木	金	土
胃 内 視 鏡	午前	畠/相馬/近藤	三上/丸野	清水/大西/丸野	大西/仁禮	秋本/丸野
腹 部 超 音 波	午前	秋本/清水/丸野	秋本/大西	相馬/仁禮/近藤	三上/丸野	相馬/仁禮/近藤
乳腺・甲状腺超音波	午前					
乳 腺 超 音 波	午後					仁 禮
頸動脈超音波	午後	担当検査技師		担当検査技師	担当検査技師	担当検査技師
大 腸 内 視 鏡	午後	三上/秋本/大西/丸野	畠/相馬/近藤	秋本/清水/丸野	畠/相馬/仁禮	田 中
心 臓 超 音 波	午後	大 野		大 野		大 野
トレッドミル運動負荷検査	午後		木 股			
心臓カテーテル検査	午後				木 股	

※頸動脈超音波の土曜日の検査は、月によって実施日に変動があります。何週目の土曜日かは、診察時にお問い合わせ下さい。

## 専門外来(予約)・特別診療のお知らせ

詳しくは各外来または予約係にお尋ね下さい。

平成26年8月1日現在

●外 科	乳 腺 外 来 (土曜日午後) ストーマ外来 (水曜日午後)	担当:仁禮貴子 担当:相馬大介・大村 稔 鈴木麻子 (皮膚・排泄ケア認定看護師)
●整形外科	手の外科外来 (金曜日午後) 足の外科外来 (木曜日午後) 膝関節外来 (第2・4月曜日午後) 脊椎外来 (第2・4木曜日午後) 股関節外来 (第3木曜日午後)	担当:田中利和 担当:野内隆治 担当:吉岡友和 (8月に限り8/6、8/27) 担当:酒井晋介 担当:菅谷 久
●小 児 科	元気な子外来 (火曜日午後・土曜日午後) ※元気な子外来では乳幼児健診・慢性疾患の経過観察・育児教育相談・うつらない病気等の診察を行います。 循環器外来 (第1・2・3・5木曜日午後) 神経外来 (第3土曜日午前) 内分泌外来 (第4土曜日午後) 予防接種 (月曜日~土曜日午後) ※土曜日午後の予防接種は原則小学生以上のお子様が対象です。	担当:小児科医師 担当:赤木美智男 担当:広瀬宏之 担当:磯島 豪
●内 科	禁 煙 外 来 (水曜日午後・土曜日午後)	担当:佐々木信和

## 2014・2015年 キッコーマン総合病院カレンダー

■は休診日

2014 8 August							9 September							10 October						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2			1	2	3	4	5	6		1	2	3	4		
3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13		5	6	7	8	9	10
10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20		12	13	14	15	16	17
17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27		19	20	21	22	23	24
24/ 31	25	26	27	28	29	30	28	29	30						26	27	28	29	30	31
11 November							12 December							2015 1 January						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1				1	2	3	4	5	6		4	5	6	7	8	9
2	3	4	5	6	7	8	7	8	9	10	11	12	13		11	12	13	14	15	16
9	10	11	12	13	14	15	14	15	16	17	18	19	20		18	19	20	21	22	23
16	17	18	19	20	21	22	21	22	23	24	25	26	27		25	26	27	28	29	30
23/ 30	24	25	26	27	28	29	28	29	30	31					31					

# おもな非常勤外来担当医師紹介

## 内 科

腎臓内科  
(火曜日または土曜日)  
おおた よしあき  
**太田 義章**

専門分野 腎臓内科  
千葉大学1978年卒業  
医学博士  
日本内科学会認定医  
日本腎臓病学会専門医  
日本医師会認定産業医

内科  
(木曜日午後)  
いまむら たかあき  
**今村 隆明**

専門分野 消化器内科  
千葉大学1996年卒業  
医学博士  
日本内科学会認定内科専門医、  
米国内科学会正会員、米国消化器  
病学会正会員、日本消化器病学会  
専門医、日本肝臓学会専門医

生活習慣病内科  
(火曜日午前)  
つかや たかふみ  
**土屋 天文**

専門分野 糖尿病、内分泌代謝  
群馬大学1995年卒業  
医学博士  
日本糖尿病学会専門医  
日本内科学会認定医

生活習慣病内科  
(木曜日午前)  
つかこし のあ  
**塙越 乃亜**

専門分野 糖尿病、内分泌代謝  
獨協医科大学2000年卒業  
日本内科学会認定医  
日本糖尿病学会専門医

生活習慣病内科  
(金曜日午前・午後)  
たかの のりよし  
**高野 倫嘉**

専門分野 生活習慣病一般  
聖マリアンナ医科大学2011年卒業

## 内 科

循環器内科  
(木曜日午前)  
くはた たけゆき  
**久保田 健之**

専門分野 循環器一般  
東京慈恵会医科大学2000年卒業  
日本循環器学会専門医  
日本内科学会認定医

呼吸器内科  
(金曜日午前・午後)  
かつら ようこ  
**桂 菲子**

専門分野 呼吸器内科  
順天堂大学2006年卒業  
日本内科学会認定医  
日本呼吸器学会専門医

呼吸器内科  
(木曜日午前・午後)  
すずき ようへい  
**鈴木 洋平**

専門分野 呼吸器内科  
順天堂大学2006年卒業  
日本内科学会認定医

呼吸器内科  
(水曜日午前・午後)  
よしだ まさひろ  
**吉田 正宏**

専門分野 呼吸器内科  
東京慈恵会医科大学2007年卒業

リウマチ・膠原病内科  
(水曜日午前)  
すみだ たかゆき  
**住田 孝之**

専門分野 膠原病・リウマチ  
千葉大学1979年卒業  
医学博士、筑波大学教授(膠原病・リウマチ、アレルギー)、筑波大学附属病院副院長、日本リウマチ学会指導医・専門医、日本内科学会認定医、日本リウマチ学会理事、日本シェーレン症候群学会理事長、日本臨床免疫学会理事、日本免疫学会評議員、日本リウマチ学会Modern Rheumatology編集長

## 内 科

リウマチ・膠原病内科  
(金曜日午前)  
よこさわ まさひろ  
**横澤 将宏**

専門分野 膠原病・リウマチ  
旭川医科大学2008年卒業  
日本内科学会認定医

## 整形外科

整形外科  
(土曜日1回)  
やまざき まさし  
**山崎 正志**

専門分野 脊椎外科  
千葉大学1983年卒業  
医学博士、筑波大学教授(整形外科)、日本整形外科学会専門医、日本整形外科学会認定脊椎脊髄病学会会員、日本脊椎脊髄外科学会評議員  
筑波大学1997年卒業  
医学博士、日本整形外科学会専門医、日本整形外科学会認定脊椎脊髄病学会会員、日本脊椎脊髄外科学会評議員、日本体育協会公認スポーツドクター

脊椎外来  
(第2・4週木曜日午後)  
さかい しんすけ  
**酒井 晋介**

専門分野 脊椎外科  
筑波大学1997年卒業  
医学博士、日本整形外科学会専門医、日本整形外科学会認定脊椎脊髄病学会会員、日本体育協会公認スポーツドクター

整形外科、膝関節外来  
(木曜日午前、第2・4水曜日午後)  
よしおか ともかず  
**吉岡 友和**

専門分野 膝関節外科  
筑波大学1999年卒業  
医学博士、日本整形外科学会専門医、日本体育協会公認スポーツドクター

股関節外来  
(第3木曜日午後)  
すがや ひさし  
**菅谷 久**

専門分野 股関節外科  
筑波大学2004年卒業  
医学博士、日本整形外科学会専門医

## 外 科

外科  
(水曜日午前)  
かわぐち よねえい  
**川口 米栄**

専門分野 内視鏡外科、肝胆脾外科  
乳腺外科  
東京大学1987年卒業  
日本肝胆脾外科学会評議員、日本  
外科学会指導医・専門医・認定医、  
日本消化器外科学会認定医、日本  
消化器外科学会消化器がん外科治  
療認定医、マンドリス法検診精度  
管理中央委員会認定医

外科  
(金曜日午前)  
たなか じゅんいちろう  
**田中 潤一郎**

専門分野 大腸肛門外科  
消化器外科  
東京大学1999年卒業  
医学博士、日本外科学会専門医

## 眼 科

(木曜日午後)  
しのだ けい  
**篠田 啓**

専門分野 網膜硝子体、視覚生理  
慶應義塾大学1990年卒業  
医学博士、日本眼科学会指導医・専門医

(木曜日午前)  
はなぞの げん  
**花園 元**

専門分野 眼科一般、視覚生理  
慶應義塾大学2000年卒業  
医学博士、日本眼科学会専門医  
日本抗加齢医学会専門医

(火曜日午前・午後)  
つづき きょうこ  
**都築 恭子**

専門分野 眼科一般  
東京女子医科大学1998年卒業  
日本眼科学会専門医

## 眼 科

(水曜日午前)  
こうの けいこ  
**河野 慶子**

専門分野 眼科一般  
東海大学2000年卒業  
日本眼科学会専門医

(水曜日午後)  
うがじん つかさ  
**宇賀神 つかさ**

専門分野 皮膚免疫  
東京医科歯科大学2001年卒業  
医学博士、皮膚科専門医

(金曜日午後)  
ちねつぐ たきち  
**宗次 太吉**

専門分野 皮膚アレルギー  
愛媛大学2005年卒業  
皮膚科専門医

(水曜日午前・午後)  
やぐち ゆういちろう  
**谷口 雄一郎**

専門分野 中耳疾患、鼻副鼻腔疾患  
東京慈恵会医科大学1996年卒業  
医学博士、日本耳鼻咽喉科学会専門医  
日本睡眠学会認定医

(第1・2・3・5木曜日午後)  
あかぎ みちお  
**赤木 美智男**

専門分野 小児循環器病学、  
医学教育学  
東京大学1979年卒業  
医学博士、杏林大学医学教育学教授  
日本小児科学会小児科専門医

## 産婦人科

婦人科  
(金曜日午前、木曜日午後1回)  
はやし まさとし  
**林 雅敏**

専門分野 更年期医学、生殖医学、  
悪性腫瘍学、周産期医学  
東京医科歯科大学1975年卒業  
医学博士、獨協医科大学越谷病院院長・產  
婦人科教授、日本女性衛生会常務理事、  
日本妊娠高血圧学会理事、日本女性心身  
医学会理事、埼玉県産婦人科医会理事、  
日本婦人科腫瘍学会評議員、日本更年期  
医学会評議員、日本産婦人科・新生兒血  
液学会評議員、日本臨床細胞学会評議員、  
悪性腫瘍化学療法研究機構(JGOG)会員、  
日本産科婦人科学会専門医

産科  
(木曜日午前)  
わたなべ あや  
**渡邊 史**

専門分野 産婦人科一般、  
メンタルヘルス  
浜松医科大学2007年卒業  
日本産科婦人科学会専門医



# 医療連携室のご案内

医療連携室長・看護師 大嶋 美起子

当院の医療連携室は「患者さん本位」の医療を実践するにあたり、患者さんが安心して診療に専念できるよう初診から入院・退院に至る一連のサービスサポートを目的として4年前に設立しました。

連携室では、地域医療、介護・福祉施設との医療連携と入院された患者さん、外来患者さんへの支援を行っています。

## 地域医療、介護・福祉施設との連携として

- 紹介患者さんの診療予約受付
- 医療機関からのCT・MRIの検査予約の受付
- 紹介患者さんに対するお返事、経過報告の送付
- 大学病院などへ紹介する患者さんの予約
- 地元の在宅を支えるケアマネージャーなどと連携を図り社会資源の有効利用の提供

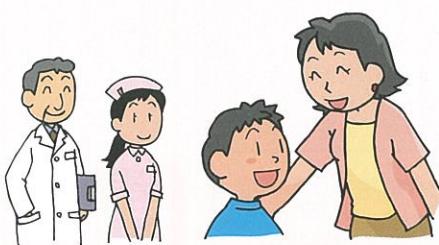
## 入院された患者さん、外来患者さんへの支援として

- 治療や療養上の生活の相談
- 医療費の相談
- 介護サービスや福祉サービスの紹介
- 在宅医療に関するご相談
- 転院、施設入所に関する相談

特に入院後退院に向けて支援が必要な入院患者さんには、入院後間もない時から受け持ち制をとり、医師や看護師、理学療法士などと連携を取り、患者さん・ご家族と相談しながら退院に向けたきめ細かなお手伝いをさせていただいている。

病気になると健康な時には考えなかったような不安や心配事がいろいろ起こってきます。医療連携室では患者さんやご家族の不安や心配事を少しでも軽減するため専任の社会福祉士2名と看護師2名が「患者さん・ご家族の思い」を大切に専門性を生かしつつ相談をお受けしています。相談室は1階会計の隣にあります。

お困りのことがありましたらお気軽にご相談ください。



## 有料駐車場が広くなりました

P 三井のリパーク

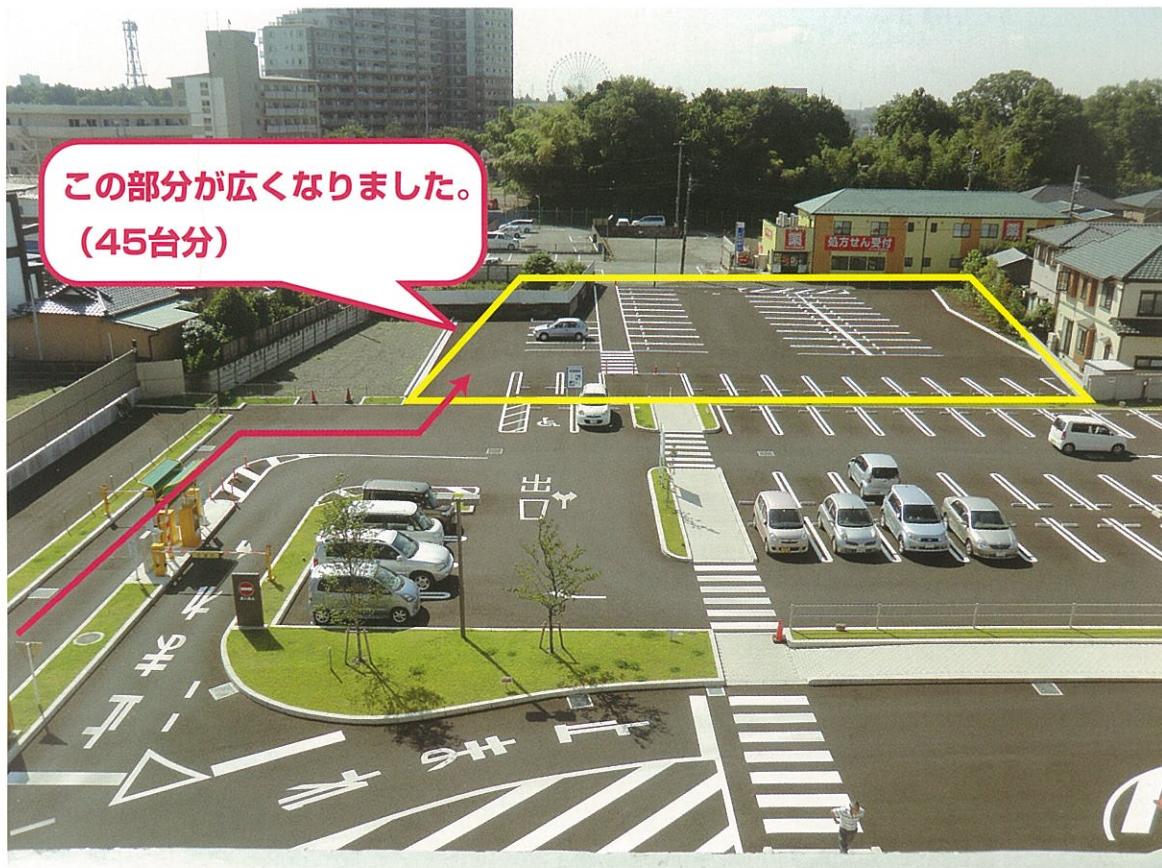
この度、当院では、「第1駐車場の区画拡張工事」を行い45台分駐車スペースが増えました。

2013年3月の有料駐車場サービス開始以降、駐車スペースの不足により、しばしば「満車」となってしまうことがあります。ご利用される患者さんやご面会の方など病院を訪れた方々に大変ご迷惑をおかけしておりました。

また今後は、**小児入院の夜間付き添い**など、一部のやむを得ない場合について、**入院中のご利用(有料)が可能**となります。詳しくは、病棟の事務員にご相談ください。

「第2駐車場」でのお願いです。

車を降りて病院に向かう場合や、外部の薬局さんなどに向かう場合などに、一部、植栽を通り抜けする方が見受けられます。過去には、植栽を通り抜けしようとして転倒する事故も起きてしまい、「危険!通り抜け禁止」の表示を行いましたが効果が低いため、通り抜け防止策としてロープを張らせていただきました。ご来院の方の安全確保ならびに植栽の破損防止の緊急措置です。ご理解・ご協力をお願いいたします。



### 拡張工事後の第1駐車場

第1駐車場と第2駐車場合わせて、244台分の駐車スペースとなりました。

#### 編集後記

私が聞いた小学校の話です。そこでは低学年児童の登下校は交通事故予防などの観点から親や地域住民が見守りをすることになっています。家の庭やマンションの敷地内には出てきて子供を迎えに来ている親は沢山いるそうですが、残念ながら毎年ボランティア人数不足です。なぜ、数十、数メートル先の交差点のお手伝いには出られないのでしょうか。他のボランティアの仕事には十分人が集まるそうですから、単に面倒くさいといった理由ではないのです。聞いてみると「何かあったら責任が持てないから」だそうです。そう考える人がいるのは不思議ではありませんが、それが多数派のコミュニティはどうなのかな、と考えてしまいました。今回の特集は「心臓カテーテル検査」です。私が昔講義を受けた頃からは日進月歩の分野です。Wikipediaを覗いてみると、カテーテル検査を最初に行った人は人体実験を行ったと病院を解雇され、後にノーベル賞を受賞しているそうです。何かあったら困ると敷地から出ないようでは成せない仕事ですね。かなり強引ですが、後書きとさせていただきます。

消化器内科部長 清水史郎

発行 キッコーマン総合病院広報委員会

〒278-0005 千葉県野田市宮崎100番地

TEL.04-7123-5911(代表)

FAX.04-7123-5920

#### 医事課・健診事務パート社員募集

ご応募は

キッコーマン総合病院 採用

検索

<http://hospital.kikkoman.co.jp/recruit/index.html>